

平成18年度「専修学校を活用した若者・自立挑戦支援事業」成果報告書

事業名	「医療系事務職における実践型人材養成カリキュラム」の開発		
法人名	学校法人 新潟総合学院		
学校名	長岡情報ビジネス専門学校		
代表者	理事長 池田 弘	担当者 連絡先	間島 孝弘 TEL 0258-35-1055
<p>1. 事業の概要</p> <p>事業のねらい 医療事務・歯科事務の2分野に限定して、実践型人材養成カリキュラムの開発 実施内容 企業実習(1年生)、OJT研修(2年生)、講演会</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>医療事務・歯科事務分野での現場からのニーズ(必要な人材像)の分析を通して、(専門)学校でできること・やらなければならないことがより明確になった。目標の達成度としては、80%を超えることができたと思われる。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>医療分野(医療事務・歯科事務)における、職業意識の醸成、就職への意識付け、学業の重要度の再認識などがあげられる。</p> <p>③今後の活用</p> <p>今回の委託事業を通して開発してきたモデルプログラムを、ひとつの方向性として、今後も更に改善を重ねながら、専門学校の教育現場で、実践してゆきたい。又、地元グループ校や、取引先病(医)院・歯科医院にも、この成果をインフォメーションし、参考資料として活用していただき、又、ご意見をいただきながらよりよいものを作り上げてゆきたい。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <p>医療の現場から求められるもの(理想)と、教育現場(専門学校)でやれること(実態)のギャップをいかに埋めていくかが重要となると思われる。協力をいただいた医療機関との連携を、今後も継続してゆき、より良い人材の育成に努めていきたい。</p>			

3. 事業の実施に関する項目

①ニーズ調査等

医院、病院、歯科医院等過去に当校学生が就職した先を中心に合計50先に対し、アンケートを依頼(郵送)した。内容としては、採用先での、当校学生への満足度、必要な資格・資質・技量等について尋ねた。結果として、回答率が20%と低く、分析としては、ややデータ不足の感があった。しかしながら、回答をいただいた病院等の回答の内容は、濃く、傾聴に値するものが多かった。

②カリキュラムの開発

医療事務、歯科事務の2つの分野での、専門学校におけるより実践的な(医療事務現場のニーズに即した)カリキュラムの開発を目指した。医療系学科の1・2年生(約150人)を対象とし、学校へ病院等関係者(病院事務長・医事課長・歯科医師)を招いて、講演をいただいた。又、講演後の質疑応答や、アンケートを実施し、学生の意識の向上をはかることができた。

③実証講座

企業実習(1年生)では、医療事務に4名(立川メディカルセンター 2名、吉田病院 2名)、歯科事務に6名(さわた歯科医院 3名、なおえ歯科クリニック 3名)、OJT研修(2年生)では、医療事務に2名(立川メディカルセンター 1名、吉田病院 1名)、歯科事務に2名(さわた歯科医院 1名、なおえ歯科クリニック 1名)が実習した。1年生は、例年の病院実習(2年次の夏)よりも半年早い実習であった為、医療事務職への就職・意識付けが進んだと思われる。2年生は、より長期のかつ内容の濃い実習の為、即戦力で使えるレベルにより近づいたと思われる。

企業実習(1年生)、OJT研修(2年生)共に、実習日誌のより詳細な記録(学生)、病院・歯科医院の指導担当者には毎日の日誌のチェックを依頼し、学生の感想・反応、病院・歯科医院の指導担当者の声・指導状況等を綿密に分析・確認し、より内容のあるものになるよう工夫した。